

平成31年度 調布市立滝坂小学校 学校経営計画							
学校教育目標							
◎よく考え 進んで学習		○強いからだ やりぬく心 ○人に親切 仲よく協力 (◎=今年度の重点)					
自指す学校像(ビジョン)							
自指す児童の姿		自指す教師の姿 (東京都が推進する教員の四つの力)					
①「授業がわかる、授業が楽しい」と目を輝かせる児童 ②「友達といるのが楽しい、クラスが楽しい」と生き生きする児童 ③ 安全に、健康で活動する児童		① 分かる授業を展開し、子供の学力を伸ばす教師 ② 生活指導力・進路指導力があり、子供の人間力を育む教師 ③ 外部との連携、折衝力があり、地域・保護者と協力する教師 ④ 学校運営力、組織貢献力があり、目標に向け協働する教師					
本校の現状と課題							
○明るく素直な児童、学校教育に協力的な保護者、児童を温かく見守つてくださる地域、組織を通して教育活動に専念する教師と、人的環境に恵まれている。 ○学習指導要領に則り各領域、教科において、児童の「基礎・基本と知識・技能」の習得を充実させている。更に「思考力・判断力・表現力」を育むことを目指し、これを指導の重点とする。 ○全学年において、児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。特に国語や算数など、将来の進路選択で必要となる教科の基礎基本を、児童全員に確実に身に付けさせる必要がある。							
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標 ※ 数値目標が可能な項目について設定する			
学力向上	【知育】 ○確かな学力の育成 ○一人一人に応じた指導	○基礎基本を定着させ、学習習慣を身に付けさせる。(家庭学習を含む)	○授業時数の確保に努め、一単位時間の授業展開に工夫を凝らすことで、児童の興味関心を高める。 ○国語や算数など積み重ねが大切な教科ではドリル学習により漢字・四則計算などを、確実に定着させる。 ○授業規律を大切にし、秩序ある落ち着いた学習環境の中で「よく考え」「真剣に学ぶ態度」を育成する。 ○毎日、宿題を与えるなど、計画的継続的な指導で、家庭での学習習慣を身に付けさせる。	○基礎基本の定着を、学年平均80%以上にする。 ○各クラスで毎日を目標に宿題を出することで、家庭学習の取組定着率を90%以上にする。			
		○知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力の育成を図る授業を展開する。	○中学年以上の「算数」で習熟度別少人数指導を導入し、個々の児童の実態に応じた指導を展開する。 ○学習に苦手意識をもつ児童に対しては補充学習を行う等、個に配慮した指導を実施する。 ○学校全体で取り組む「国語科研究」で得た教科指導法の成果を、全教員が学級で自身の授業に展開する。 ○言語活動を重視し、授業の中での発表活動や他の児童に説明する取り組みで「話型」を指導する。	○家庭による「学校アンケート」で、80%以上の保護者が「我が子は授業がわかる」を選択する。			
健全育成	【徳育】 ○豊かな心の育成 ○いじめ問題の未然防止、早期発見・早期対応を行う。 ○人権尊重の精神を養い、他者との関わり方を身に付けさせる。	○落ち着いた学校生活の中で仲間を思いやる心を育てる。	○あいさつ、言葉遣い、清掃、時刻、整頓を月の生活目標に取り入れ、具体的な指導を行う。 ○一人一人の活動を認め褒めることで自己肯定感を育み、更に相手を思いやる心を育てる。 ○道徳科授業では、指導内容を十分に吟味し、年間を通じて計画的に推進することにより児童の心を耕す。 ○校内壁面掲示を整える。更に校舎内外清掃や校庭の草花の手入れなど、生活環境整備に力を入れる。	○個々の児童の生活週目標の達成度を80%以上とする。 ○自分からあいさつや感謝の言葉を言える児童を、80%以上にする。			
		○学級・学年の経営を整え、担任間や管理職との連携を密にすることで、児童間の健全な人間関係を育む。	○異年齢学習集団による活動を計画的に取り入れると共に、特別活動や学校行事を通して自己の役割を達成できるような全体計画を作成し活動することで、自己肯定感を育む。 ○思いやりのある良い行動や上級生による中身の濃い集会活動を全校児童に紹介することで、「滝坂小学校に学ぶ児童」としての愛校心を育んだり、集団への所属感を育んだりする。	○上級生や下級生、集団の中で積極的に活動できる児童を80%以上にする。 ○将来の夢や希望をもてる児童の割合を80%以上にする。			
健 康・体 力 つ く り	【体育】 ○児童の健康や体力向上を図る取組を通じ、丈夫でたくましい心と体をつくる。 ○オリンピック・パラリンピック教育を推進するための活動を充実させる。	○発達段階に応じて、自己の体力や運動能力、食習慣など健康に関する認識を深め、自ら取り組む。	○「早寝、早起き、朝ご飯」活動を家庭教育の一環として呼び掛け、小学生らしい健康的な生活を心掛けさせる。 ○中休みや昼休みの時間は、児童が校庭に出て遊ぶような取り組みを行う。 ○保健計画を基に、計画的・組織的な保健指導・安全指導を行う。	○休み時間を含め、運動に親しんでいる児童が80%以上になるようとする。(呼び掛ける)			
		○「1校1取り組み」につながる全校児童が協力して臨む体力向上活動を企画し実践する。	○縄跳びや水泳、ボール運動やマラソンなど、体育の指導内容の系統性を工夫し、運動の日常化を図り児童が進んで体を動かす習慣を身に付けるようにする。 ○オリンピック・パラリンピック教育を推進し、大会関係者による講演会を開くなど、2020年度に開催される東京大会を児童が進んで応援する態度や運動に親しむ心を各領域・教科の指導を通じて養う。	○80%以上の児童が、適切な時刻に就寝できるようになる。(呼びかける)			
保護者・地域との連携	【保護者】【地域】 ○保護者が学校における児童の学習や生活の様子を知る機会を積極的に設ける。 ○良好な連携体制を整える。 ○地域活動に児童を参加させ児童の地域への「所属感」を養い、ふるさと意識を育む。	○児童の様子を学校便りやホームページ等で地域や家庭に知らせる。 ○休日学校公開、休日学校行事の実施と保護者参加行事を設定する。	○学校公開や各種便りの配布など児童の学校生活の様子が分かる情報の発信を定期的に行う。 ○あいさつ周間・引き渡し訓練・PTA活動・読み聞かせ活動など、教育活動に保護者が関わる様々な場面を設定する。 ○けがや人間関係のトラブルなどは必ず保護者に報告する。日頃より担任を中心に家庭との連絡を密に行う。	○ホームページの更新を月に1度以上行う。			
		○学校教育に協力的な地域の様々な活動や行事に、学校として積極的に関わり協力する。	○健全育成地区委員会、開放委員会、まちづくり協議会、同窓会(きずな)など、地域が主催する、「健全育成ソフトボール」や「ごみゼロ運動や行事」には、本校が全面協力する。 ○児童が地域に深く関わることで、児童の情操面を育成し「滝坂ふるさと意識」をもたせる。 ○地域と学校が深く関わりながら協力して、児童の情操面を育てる。	○地域行事や健全育成委員会主催行事には、年間を通じて、児童が1回以上参加する。			
特色ある教育活動	【特色】 ○外部関係機関と密接に連携することで、教育活動の活性化を図る。 ○読書活動の推進 ○花や木々などの環境つくりを大切にする。	○学校支援地域本部の取組に協力する。 ○全校児童が読書に親しむ校風をつくる。 ○食育の推進を計画的に推進する。	○芝生の管理や漢字練習会、漢字検定の実施など、間接的に児童の資質を高める活動を計画的に推進する地域学校協働本部に全面的に協力する。 ○図書ボランティアによる読み聞かせ活動の定期的な実施や読書旬間の設定による読書活動の啓発により、児童が読書活動に取り組む環境を整える。 ○高学年児童のバケツ稲作、低学年児童によるそら豆のさやもぎやグーリンピースのさやむき、地域の方々の協力による梅もぎなど、触れ合いや体験学習を通じて、食育の推進を図る。	○学校評価アンケートで、読書に親しんでいる児童の割合を80%以上とする。			
		○地域の大学より学生ボランティアを受け入れ学習指導支援体制を整える。 ○児童・教員が協力して花や樹木の整備に努める。	○白百合女子大学と連携し教員志望の複数学生ボランティアを年間を通じて定期的に招くことで、本校の教育活動支援する体制を充実させる。 ○「滝坂の森」や「スマイルガーデン」など、自然を大切にすることで学校環境整備を推進し、児童の心を耕す学習環境つくりに力を入れる。				